

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社宮城衛生環境公社		
事業所の名称	株式会社宮城衛生環境公社		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区熊ヶ根字野川26番地の6		
主たる事業	廃棄物処理業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	64.0 t-CO ₂	基準原単位	0.03435
		目標年度	2022 年度	目標排出量	50.0 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	21.87 %	削減率	21.39 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	44.0 t-CO ₂	排出原単位	0.02362
			削減率	31.25 %	削減率	31.23 %
		排出量等の増減理由	目標設定の通り、2020年度に太陽光発電設備の導入を行い、再エネ由来の宮城県産のJ-クレジットを活用し、削減に繋げることができました。			
	第2年度	2021 年度	排出量	67.0 t-CO ₂	排出原単位	0.03596
			削減率	-4.69 %	削減率	-4.69 %
		排出量等の増減理由	2021年度はJ-クレジットの活用はせずに、導入した太陽光発電のみで再生可能エネルギーを活用しました。そのため削減率は減少しましたが、2022年度に向けて再生可能エネルギーの導入を検討するきっかけの年となり、2022年度に電力事業者から再エネメニューを購入し活用することとしました。			
	第3年度	2022 年度	排出量	69.0 t-CO ₂	排出原単位	0.03704
		削減率	-7.82 %	削減率	-7.84 %	
	排出量等の増減理由	システム上、数値では削減率がマイナスになっていますが、電力については再エネ由来の電力を100%活用しているため、実際は22t-CO ₂ の排出量となり、目標年度の目標排出量の半分以下となります。				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	28 %	目標年度	89 %
	第1年度	38 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。
	第2年度	83 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。
	第3年度	91 %	実施状況の説明等	計画書に記載した通りの対策が概ね実施できている。

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	外気冷房		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		一部実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001取得	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	再エネ100宣言RE Action宣言	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	COOL CHOICE賛同	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	気候変動イニシアティブ参加	実施済
	グリーン調達の実施	グリーン購入ネットワーク(GPN)みやぎグリーン購入ネットワーク参加会員	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	エコにこマイスター登録認定	実施済
	カーボンオフセットの実施	宮城県(みやぎスマエネ倶楽部)再エネ由来J-クレジット活用	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	社員向けに自社内で行っている「宮環脱炭素プロジェクト活動」についての周知	実施済
	市が実施する環境関連事業への参画	青下の杜プロジェクトによる水道記念館周辺社会貢献活動地域清掃	実施済
SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	みやぎe行動(eco do!)宣言(宮城県)	実施済	